



## テクニカルショウヨコハマ2020

(第41回工業技術見本市)

神奈川県下最大級の工業技術、製品に関する総合見本市「テクニカルショウヨコハマ2020」が2月5日～7日の3日間、パシフィコ横浜にて開催されました。

横浜を舞台に過去40回の開催の歴史があり、地域に根ざした見本市として評価されています。

会場は「ロボット」、「IoT」、「加工技術」、「機器・装置・製品」、「研究開発」、「ビジネス支援」のテーマに分かれ、近県からも含め、約830の会社、団体がブースを出展し、製品のデモンストレーションや説明を行いました。

綾瀬市商工会からは、共同出展ブースとして5社出展しました。



### 共同出展ブース5社の紹介

#### 株式会社栄和産業

自動車部品の製作を主力とし、技術力の高さと様々な取り組みを展示物で表現。栄和産業の視野の広さと魅力をPRしました。

#### ＜出展製品＞

- 製作製品の案内関連
- 取り組み及びプロジェクトの紹介



### あやせものづくり研究会によるプレゼンテーション

2日目、セミナー会場にて「あやせものづくり研究会」のプレゼンテーションが行われました。

テーマは『ものづくり×デザイン×デザインとの戦い』。

新商品開発を行ってきた中での取り組みや想い、苦労話に参加企業3社により発表されました。

綾瀬市は政令市（横浜市、川崎市、相模原市）に続く、県内第4位の企業集積を誇る「ものづくり」のまちですが、中・小規模企業が多く、製品が表に出にくい、下請け企業が大部分を占めています。